



新戦力がみせた！ 暗雲を払しよくする勝利

駒澤大学4-0朝鮮大学校

初出場ながら勝利に大きく貢献した真野(左)と平田 (撮影：射手真矢)

5月5日 11:30 厚木市荻野運動公園	
駒大 4 (2-0) 0 朝鮮大 (3位) (2-0) (11位)	
得点者 (アシスト)	
[駒] 2分菊池 (田中) [駒] 5分平野 [駒] 5分山本 (平野) [駒] 7分真野 (田中)	
KOMAZAWA GK①大石健太(3) DF②荒井裕介(4) DF④三澤祥馬(4) DF③嶋谷昇大(1) DF③田中雄一(3) MF⑥若山瞭太(3) MF③碓井鉄平(3) (82分)⑤宮城雅史(4) MF⑥平野篤志(1) (71分)⑦奥村情(4) MF⑨山本大貴(3) MF⑨真野直紀(4) FW⑨菊池将太(1) (64分)⑩糸井康裕(3) S U B GK⑩増山昇吾(3) DF⑩友廣壮希(3) DF⑩鹿野剛己(1) MF⑩中村駿(1) MANAGER 秋田浩一	TYOUSENN GK⑩朴将誠(2) DF⑩李永徳(4) DF⑩慎鏞紀(1) (45分)②車健人(4) DF⑩李教俊(3) DF⑩許亮(2) MF⑩朴利基(2) MF⑩金秀奎(4) (79分)②金容寿(4) MF⑩李晃輔(4) MF⑦李宗(4) FW⑩金弘淵(4) FW⑩高尚人(3) (71分)⑩張營根(4) S U B GK①李在根(1) DF⑩任良太(1) MF⑩周祐慶(3) FW⑩南忠秀(4) MANAGER 金鍾成
[シュート] 11:6 [GK] 7:14 [CK] 8:5 [直接FK] 11:17 [間接FK] 5:4 [主審] 小河原 啓太 [観衆] 約311人	
警告(C)/退場(S)	
[朝] 41分李 晃(C1) [朝] 90分李 永(CS) [朝] 50分金 秀(C2) [朝] 77分李 永(C1) [朝] 90分李 永(C1)	

4発快勝で3位浮上!!

前節の完敗から中1日で迎えた今節。駒大はメンバーを大きく変えた。すると開始から、出場機会を得た選手達が躍動する。

2分、田中のパスをゴール前で受けた菊池が落ち着いて流し込み、先制点を上げる。さらに直後の5分、平野がコーナーのこぼれ球を冷静にトラップ。焦らずに一人交わすとそのまま豪快にネットを揺らし2-0とすると、幸先のいいスタートを切った。

ルーキー2人の活躍で好調を予期させたが、ここから「早い時間に2点取って、中だるみした」と主将三澤が語ったようにピンチが続く。それでも相手のミスもあって失点は免れると、38分には真野のシュートがバーを直撃するなど駒大ペースを維持し前半終了。

後半、朝鮮大が攻勢を強めてくると52分、この日最大の難関を迎える。こぼれ球を連続でシュートされ、これをDF陣が何とか防ぐ。ピンチの後にはチャンスが待っていた。56分、平野のクロスでGK朴が目測を誤る。しっかり詰めていた山本がキッチリ決めてさらにリード。これで朝鮮大の集中力は切れてしまい、78分に田中の

クロスから真野の迫力満点のダイビングヘッドで勝負あり。うっ憤を晴らす快勝で順位も3位へと上げた。

メンバーが変わった中でも「やる事は変わらないことを意識」(田中)し、自分達の走り勝つというスタイルで勝てたことは大きな自信となったはずだ。

“しかし”気を抜くわけにはいかない。「戦わない選手は使わない」-。試合後、秋田監督がそう言ったようにこの日のメンバーに2年生は1人も入らなかった。さらに「困った時は4年生」とまで言われてしまった。ここで腐るのか、それとも踏ん張ってもう一度戦うのか。2年生の活躍なくして昇格という目標は達成できるはずがない。まさに正念場である。

次なる相手はここまで2勝2分け2敗で8位と煮え切らない戦いが続く関東学院大。下位チームとの対戦が続くが、取りこぼしは許されない。この日のように気持ちを前面に出し、90分走り切れば絶対に結果はついてくるはず。「駒大のスタイルは変わらない」(三澤)のである。

早いもので前期の戦いも半分を消化した。未だ連勝がないだけに、次節は是が非でも勝利がほしいところ。このまま駒大は走り抜けていく。(猪熊脩登)